

## 『拡大主義への決別』

Bigger isn't Always Better!

～ 真の成長を実現する革新思考～



「成長とは進歩していくことであり、大きくなることではない」

エンロン、リーマン、GMの破綻に続き、世界の日航の終焉。

拡大神話は崩壊した。問われているのは真の成長。本書は、世界的に著名な経営コンサルタントのロバート・M・トマスコが「組織の中での成長とは何か」について自身の経験をもとに、綿密な取材を加えて完成した集大成！ビジネスの中で実際に起きた問題に対して、どのように解決しかたの成功例が、豊富な資料やエピソードで紹介されています。読者が真剣に立ち向かっているビジネスを好転させる経営書です。

企業の経営者・中堅幹部・幹部候補生など自分が所属する企業や業界の成長に関心がある人、ビジネスにおいて成長に貪欲な30代-40代のビジネスマン、これから社会に立ち向かっていく学生に是非読んで頂けると考えています。また、非営利企業であっても、組織の幹部とそしてその組織の成長と発展を志している人にも役立つと考えています。

## 【書誌情報】

発売日：2010年4月15日

ISBN：978-4-89449-094-9

定価：1,890円（税込み）

著者：ロバート・M・トマスコ

訳者：小西恒彦

出版社：株式会社バベル(バベルプレス)

判型：A5判

## 【著者情報】 Robert M. Tomasko-ロバート・M・トマスコ

ハーバード大学で組織行動科学を専攻し、博士号を取得。

アーサー・リトル社のシニア・コンサルタントとして15年間勤務した後、他の大手のコンサルタント会社の共同経営者になる。ワシントンDCを中心に活躍し、コカ・コーラ、ダイムラー・ベンツ、マリOTT、エクソン、トヨタ自動車、IBM、三菱、HPなどの企業に組織効率をアドバイスする専門家として活躍する。

著作：『Downsizing』1992年

『ダウンサイジング』（佐久間洋一郎訳、ダイヤモンド社）

『Go for Growth』1994年

『未来組織の原理』（田畑成章訳、ダイヤモンド社）

【目次】第1章：大きくなるのは、良いことなのか

第2章：株価上昇が必ずしも良いとはいえない

第3章：成長とは前進する動きなのだ

第4章：物事をまとめていく人か、成長させていくひとか

第5章：どこに注意を向けるか

第6章：相手が望んでいることを知る

第7章：真実を告げよ

第8章：緊張感が生み出す前進する力

第9章：気持ちを汲みとり、心情をつかむ

第10章：弾みをつけ、挫折を跳ね返す

第11章：いつ一步を踏み出すか、いかにして利益を共有するか

第12章：終章

## 【本件に関する問い合わせ先】

バベルプレス（株式会社バベル） 担当：藪下 e-mail：[pess@babel.co.jp](mailto:pess@babel.co.jp)

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル3F

TEL：03-5211-3727 FAX：03-5211-3778

ご注文はeガイア書店：<http://www.egaiasyoten.com/shopdetail/015000000009/order/>

(このリリースのデジタルデータ、表紙画像データなどのご希望があればご連絡ください。お送りいたします。)